

リンドウ新品種 ‘ふくしまほのか’ の育成

野田正浩・遠山芳弘*・遠藤亮子*・大河内 栄**・諏訪理恵子

(福島県農業総合センター・*福島県県北農林事務所安達普及所・**福島県県中農林事務所須賀川普及所)

Breeding of a New Gentian Cultivar 'Fukushima-honoka'

Masahiro NODA, Yoshihiro TOHYAMA*, Ryoko ENDO*, Sakae OOKOUCHI** and Rieko SUWA

(Fukushima Agricultural Technology Centre, *Adachi Agriculture Promotion Sector, Kenpoku Agriculture and Forestry Office, **Sukagawa Agriculture Promotion Sector, Kentyu Agriculture and Forestry Office)

第 22396 号である。

1 はじめに

福島県では、リンドウ産地の生産振興を図るために 7 月から 10 月にかけて開花する市場性、生産性に優れたリンドウ F₁ 品種群の開発を進めている。優良な F₁ 品種の育成に当たっては、優れた特性を有する親系統の選抜育成が重要である。この度、県内のリンドウ育種家との共同研究を通じ、既存の固定品種を片親とする F₁ 品種 ‘ふくしまほのか’ を育成したので報告する。

2 試験方法

(1) 育成素材

母株として、旧福島県農業試験場で維持していたエゾリンドウの実生選抜系統を 10 系統、父株として南会津町(旧伊南村)のリンドウ育種家である大宅宗吉氏が育成した 4 品種から 25 系統を選抜し用いた。

(2) 組み合わせ能力検定兼生産力検定

- 1) 供試系統数 39 組み合わせ交配系統
- 2) 試験実施場所 猪苗代町

(3) 地域適応性検定

- 1) 供試系統数 1 系統(福島交 12 号)
(対照品種: スカイブルーしなの 3 号)
- 2) 試験実施場所 南会津町、下郷町、飯舘村、塙町

3 試験結果及び考察

(1) 育成経過

平成 13 年～16 年に組み合わせ能力検定兼生産力検定を実施し、39 系統の中からエゾリンドウの晩生系実生選抜系統を母株、‘尾瀬の愛’の選抜系統を父株とする ‘PF0130’ を選抜し、‘福島交 12 号’ を付与した。

平成 17 年からは県内のリンドウ主産地において地域適応性検定を実施し、平成 19 年 9 月にその特性を確認して育成を完了した。

平成 20 年 3 月に ‘ふくしまほのか’ と命名し、種苗法に基づく品種登録出願を行った。品種登録出願番号は、

(2) 特性概要

1) 草型及び葉

草丈は、定植 3 年目株で 130cm 程度である。茎の色は上部下部ともに淡緑で、アントシアニンの着色は下部にのみ少程度見られる。1 節側枝は中部のみに 0～4 本発生し、2 節側枝は中部から下部に 0～6 本程度発生する。葉身の形状は披針形で、葉の着生角度は 60～89°、葉表面の色は緑である。

2) 花

花冠の形状は鐘形で、花冠先端の転回は反転せずである。花冠内面上部の色は鮮青紫 (JHS カラーチャート No.8005) であり、花冠内面中部の色は淡青紫 (同 8002)、花冠外面の色は濃青紫 (同 8006) である。花段数は 8～9 段と多く、開花の順序は中部からであるが、一茎内の花の咲き揃いは良い。また、頂部の着花数は 9～12、茎当たりの総花数は 43 程度である。

現地ほ場(南会津町、下郷町、飯舘村、塙町)における開花期は 9 月上旬～9 月中旬である(表 1、図 1)。

(3) 病害抵抗性

地域適応性検定の結果、南会津町、下郷町、飯舘村において葉枯病の発生はほとんど認められなかった。例年葉枯病が多発する塙町ほ場では、既存品種の発病が下部から中部にかけて中～甚程度と多いのに対し、‘ふくしまほのか’ は下葉に中程度の発病が認められた程度であったことから、葉枯病に対して既存品種と同等かやや強い品種であると考えられた。

(4) 収量性

10a 当たりの切り花本数は、23,600 本～39,600 本と多かった。下郷町の現地ほ場においては、茎曲がりによる規格外品の発生が認められたが、等級別切り花割合は 2L、L の上位規格が多く採花され、その割合は 91.9～97.4% と高かった(表 2)。

4 まとめ

‘ふくしまほのか’は、9月上中旬に開花し、花冠外面の花色が濃青紫色の品種である。定植3年目株の草丈は130cm程度、茎立数は9～12本であり、花段数が8～9段と多いことから上位規格の切り花を安定して採花することができる。

病害抵抗性は特に付与していないため、栽培に当たっては慣行の防除が必要である。

‘ふくしまほのか’の育成により、先に育成した品種と組み合わせて栽培することで、7月中旬から9月中旬まで県育成F₁品種の継続出荷が可能となる。

表1 県内主要産地における‘ふくしまほのか’の生育特性

主要特性	ふくしまほのか				しなの3号
	南会津町	下郷町	塙町	飯舘村	飯舘村
開花期	9月3半旬	9月3半旬	9月1半旬	9月2半旬	9月3半旬
花色	濃青紫	濃青紫	濃青紫	濃青紫	鮮青紫
開花順序	中	中	中	中	一斉
花型	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘
花段数(段)	9.4 (1.1)	9.0 (1.2)	7.9 (0.7)	7.9 (0.9)	5.3 (1.1)
草丈(cm)	129.9 (8.8)	122.6 (10.6)	131.9 (9.7)	131.6 (6.1)	165.2 (18.1)
茎着色	少	少	無	無	無～少
側枝数(本)	0～5	0～4	0～15	0～6	—
茎立数(本)	9.9 (2.4)	11.6 (2.5)	8.9 (3.1)	12.1 (3.3)	16.8 (4.0)
葉型	披針	披針	披針	披針	披針
葉長(cm)	8.0 (0.9)	7.2 (0.4)	7.0 (0.7)	7.2 (0.8)	8.2 (0.8)
葉色	緑	緑	緑	緑	緑

※：()内の数値は標準偏差



図1 ‘ふくしまほのか’の草姿

表2 ‘ふくしまほのか’の定植3年目株における収量性

試験場所	10a当たり 切り花本数(本)	等級別切り花割合(%)		
		2L	L	M
飯舘村	39,600	91.4	1.0	7.6
下郷町	34,600	70.5	21.4	8.1
塙町	23,600	80.5	16.9	2.5

7月		8月		9月			
中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
←ふくしまさやか→		←ふくしまおん→					
←ふくしまみび→				←ふくしまほのか→			

図2 福島県育成リンドウ品種の開花時期